

プロジェクト名	湖岸エリア・アートプロジェクト会議	
設置日	平成25年7月31日	
目的	「美」をテーマとする一体的な活動を連続して行うことで、湖岸エリア全体を目的化し、地域イメージの向上によって集客力を強め、にぎわいを創出する。	
活動内容 (予定含む)	①滋賀県立大学との連携による湖岸エリアのランドスケープの検討 ②既存施設を活用するギャラリー・コリドールの調査研究 ③シンポジウムの開催 ④現代アート展覧会の企画・開催	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	<input type="checkbox"/> (基本方針1) 大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化 <input type="checkbox"/> (基本方針2) 大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出 <input checked="" type="checkbox"/> (基本方針3) 琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり 【該当事業又は関連事業】湖岸エリア・アートプロジェクト	
人数	7	
リーダー	中井 保	NPO法人浜大津観光協会 理事長
サブリーダー	山口 晃司	大津パルコ 店長
プロジェクト委員	村田 省三	商工会議所 専務理事
	秋村 洋	なぎさのテラステナント会 代表
	谷 祐治	一般社団法人大津青年会議所 直前理事長
	柴山 直子	NPO法人浜大津観光協会 理事
	松澤 秀夫	大津市都市再生課 課長
(アドバイザー)	村上 修一	滋賀県立大学環境科学部 教授
(アドバイザー)	中田 洋子	BIWAKOビエンナーレ 総合ディレクター
適用・特記事項		

びわこを未来につなぐ

びわ湖 こどもアートセッション

2014 IN 大津

「つくる まなぶ ふれる」

びわ湖は、私たちの大切な宝物。そして、その大切さを、親から子供たちへ、そして、さらに次の世代へと、未来につなげていくことが必要です。そのびわ湖の、大切な自然と文化について、子供たちにわかりやすく教え、考えてもらうためのきっかけづくりとして、私たちが選んだテーマがアートです。

第 2 回目の 2014 年も、大津市の琵琶湖畔で、新しいプログラムで「つくる まなぶ ふれる」アート体験を通して、みなさんも、びわ湖についていっしょに考えてみましょう。

- セッション1 アートをつくる
「びわ湖の自然をテーマに現代アートをつくろう」
※NPO 法人エナジーフィールドと連携プログラム

- セッション2 アートでまなぶ
「アートでいろんなことを考えよう」
※成安造形大学によるワークショップ予定（10月18日びわ湖ホール）
※伊東豊雄建築塾（10月18日びわ湖ホール）
※小松正史京都精華大准教授—— 大津ジャズフェスティバル実行委員会との連携
（10月19日大津市民会館）

- セッション3 アートにふれる
「ふれて、さわってアートを感じよう」
※大塚オーミ陶業（株）（10月18日・19日パルコ広場）

資料 1

- ◇ 日時：平成 26 年 10 月 18 日（土）19 日（日）
- ◇ 会場：びわ湖ホール（18 日）、大津市民会館（19 日）、パルコ広場
- ◇ 主催：大津市、びわ湖こどもアートセッション実行委員会
- ◇ 共催：大津市中心市街地活性化協議会（湖岸エリア・アートプロジェクト）
- ◇ 協賛：

- ◇ 協力：大津ジャズフェスティバル実行委員会
- ◇ 山口情報芸術センター（予定）、大塚オーミ陶業（予定）
- ◇ 後援：滋賀県（予定）、滋賀県教育委員会（予定）、大津商工会議所（予定）、株式会社まちづくり大津、一般社団法人 大津青年会議所
- ◇ 制作：NPO 法人浜大津観光協会、NPO 法人エナジーフィールド、成安造形大学、伊東豊雄建築塾、大塚オーミ陶業（株）

以 上